

うるおい

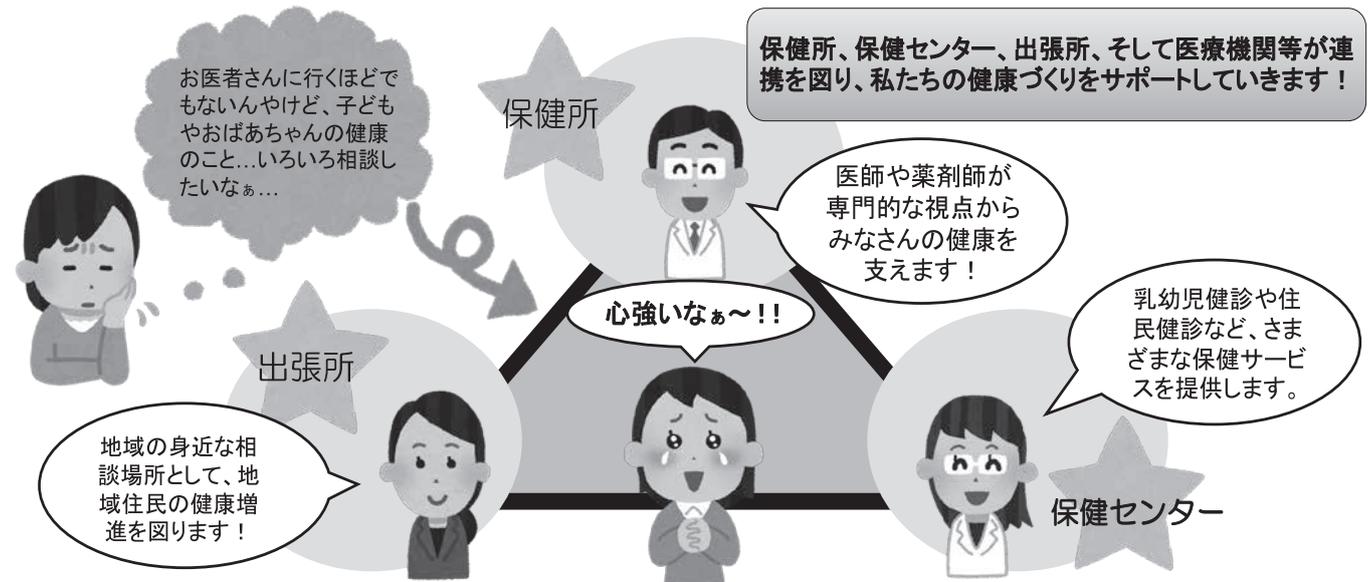
第70号

発行
八尾市自治振興委員会
八尾市赤十字奉仕団

八尾市本町1-1-1
八尾市役所市民ふれあい課内
電話072-924-3827(直通)

“中核市” になったら何が変わるん??

八尾市は平成30年4月に、都市制度の区分が、施行時特例市から中核市に変わります。
中核市になると、たくさんの事務権限が大阪府より移譲され、その大半が市保健所が設置されることにより行う事務になります。その中には、「人」に対する健康づくりや、人の健康を支える「環境」づくりの取り組み、動物愛護に関する取り組みなどがあります。
その中でも特に、健康づくりに対する取り組みは、私たちにとって身近であり重要なキーワードだと思います。いったいどのように変わっていくのでしょうか？



~八尾市自治振興委員会と八尾市は協働で町会加入促進活動を実施しています~

ご存知ですか!? 町会の活動!

町会（自治会）はあなたのまちが住みよいまちとなるよう様々な活動に取り組んでいます。あなたも町会に加入して、地域のまちづくりに参加しましょう!

【町会加入の問い合わせ】
八尾市役所 市民ふれあい課
電話：072-924-3827
F A X：072-992-1021



災害時など、いざという時への備え

防災訓練や防犯パトロール、ひとり暮らし高齢者の見守り活動などに取組んでいます。

地域のつながりづくり

市民スポーツ祭や盆踊り、ふれあい祭など年間を通じて様々な行事を開催しています。

防犯灯の設置・維持管理

防犯灯の設置・維持費用や電気代のおよそ半額は町会費で賄っています。

まちの環境美化

公園など地域の清掃活動を実施しています。

※平成30年4月1日より、「市民ふれあい課」は「コミュニティ政策推進課」に課名が変更となります。

八尾市広報板

その他にも…

- ・食品衛生・環境衛生に関する業務
- ・「高度救助隊」の創設による
災害時等の救助体制の強化
- ・認定こども園等の認可や指導
- ・八尾市の教職員の育成
- ・八尾市らしい景観形成の取り組み
- ・産業廃棄物についての許認可・指導等

大阪府でしていた、たくさんの事業が、八尾市の判断でできるようになるんやね！
他にもたくさん変わることがありそうやから、調べてみよう！



八尾市 中核市

詳しくは調べてみよう♪

～市政だより3月号、4月号にも特集記事が掲載されています～

～八尾市自治振興委員会の活動を紹介します～

市政懇談会が開催されました

11月20日（月）に八尾市役所において、自治振興委員会幹事と八尾市側から田中市長をはじめ、関係部局の職員が出席して市政懇談会が開催されました。

意見交換会では、災害時要配慮者支援名簿について、町会や福祉委員会等の地域団体へ情報提供し、日頃からの見守り活動を行うための取り組みが進められているが、個人情報の問題等がある中で、どのように取り組みを進めていくかについて議論されました。

また、地域では、これまでになかったようないろいろな課題も発生しており、その相談先や市の対応などについて、活発な意見交換が行われました。

市政懇談会に先立ち、去る、平成29年10月18日(水)に、八尾市自治振興委員会及び八尾市民生委員児童委員協議会の役員による顔合わせを行い、今後、両団体での協力関係を構築していくことが確認されました。

八尾市自治振興委員のみなさまにおかれましても協力・連携を図っていただきますようお願いいたします。



テーマ「高齢化と地域のまちづくり」



町会活動の1コマ



“あやとり”を楽しむ子どもたち
～ 亀井小学校に通う1年生と地域の方が
「昔あそび」を通じて交流を深めました。～

赤十字奉仕団婦人部の活動を紹介します

各地域で講習会を開催

赤十字奉仕団婦人部では、健康な日常生活を送るための支援活動として、日本赤十字社の先生による講演会を各地域で実施し、ご自身・ご家族・地域で活かしていただく内容を学んでいただいています。

【今年度の実施内容】

- 10月23日（月） 龍華コミュニティセンター テーマ「認知症を知ろう」
- 11月10日（金） 志紀コミュニティセンター テーマ「もしもの時の急病対応」
- 11月28日（火） 八尾市文化会館 テーマ「ロコモティブシンドロームを予防しよう」

【10月23日開催の「認知症を知ろう」から脳への刺激を促す認知症予防体操を紹介】



出典：国立長寿医療研究センター「認知症予防に向けた運動コグニサイズ」のパンフレットより

清掃奉仕活動

毎年12月上旬に、八尾市内の福祉施設で清掃奉仕活動を行っています。今年度は平成29年12月7日（木）特別養護老人ホーム「成法苑」で、寒空の中、施設の窓拭きや掃き掃除を中心に清掃を行いました。

施設の方からは、「普段、なかなか掃除が行き届かない場所を清掃していただき、大変助かりました。」とのお声をいただきました。



施設の清掃の様子

赤十字活動資金ご協力のお礼とご報告

平成29年度に町会などを通じてご協力いただきました赤十字活動資金は、下記のとおりとなりました。

赤十字活動資金

合計9,482,661円（平成30年1月31日現在）

寄せられた赤十字活動資金は、日本赤十字社が行う地域福祉や災害救護、防災活動等に役立てられます。

今後も、日赤活動へのご理解とご協力をお願いします。

これまでご協力いただいた義援金のご報告

（平成30年1月31日現在）

- ・東日本大震災 65,636,648円
- ・平成28年熊本地震 5,206,173円

ご協力をいただいた義援金は日本赤十字社を通じて、被害状況に応じて按分され、各被災県に設置された義援金配分委員会を通じ、全額を被災された皆様にお届けいたします。

通信員 からの 投稿

- P4 多様性と個性を生かした、未来の子ども達が育つ環境づくり
美園地区 中島 光隆
- P4 町会長体験記
東山本地区 増市 清子
- P5 「ノルディックウォーク」のまち 北山本
北山本地区 中塚 廣昭
- P5 町会に思う
龍華校区植松地区 古里 源三

- P6 竹淵地区の紹介と町会活動
竹淵地区 長谷川 憲司
- P7 町会行事の紹介
大正南地区 寿喜多 勝也
- P7 まちづくりにおける町会の役割
曙川東小学校区 浅田 哲次

多様性と個性を生かした、未来の子ども達が育つ環境づくり

美園地区 中島 光隆

美園地区の自治会の会長を初めて務めさせていただき2年近くになります。実家から出て仕事を始めてからは、遠く海外、大阪の北摂、東大阪を移り住み、数年前に地元に戻ってきて、このお役目を頂いた次第です。

美園地区には、年1回の弦楽合奏団として20年以上、定期演奏会を行われている団体があります。指揮者である会員さんや、地元が誇るソプラノ歌手がおられ、その他の団員の方々と久宝園集会所で練習をされています。その演奏会に最近参加することがあり、その楽曲や歌声に感動しながら、これまでの自治会の活動やいろいろな方との出逢いを思い起こし、この地域の多様性、個性、そして横のつながりについて改めて考えさせられました。

昨今の自然災害、度重なる震災、隣国の核開発、今日ほど、それぞれの家族や地域の絆が、今日ほど必要な時はありません。美園地区でもその家族と家族を結びつけ、いざという時のために絆を強くしておく取り組みが精力的に行われています。

昔は畳を道に出してきて、一斉にダニ退治をしたという一斉清掃も、今日まで形を変えて継続され、皆黙々と実施されています。また、毎年衰えない熱気を感じ

させる美園地区のスポーツ祭、これなどは、まさしく有事の時への地域の絆作りに、なくてはならない催しなのだと、その必要性を確信した次第です。

これからも、老若男女がそれぞれの持ち味、得意なこと、知力、体力を地域で出し合い、平時から交流を深め、しなやかで逞しい絆を強めていくことが求められています。その上で、今日も交通安全への奉仕活動をされている皆さまに見守られ、登下校する子ども達を日々、微笑ましく眺めています。それぞれの家族や地域の絆に守られて、伸び伸びと育ち、地域のみならず、広く社会に貢献ができる立派な大人になるよう町会の絆をより一層強くしていきます。



演奏会のように

町会長体験記

東山本地区 増市 清子

約二年前、生まれてこのかた「長」が付く役などしたことの無い私に、「町会長をお願いします」との依頼がありました。

当時、私は年中無休の飲食店を経営しており、仕事と町会のお世話が両立できるか不安で一杯でした。しかし、「誰かがやらねば」という思いからお引き受けしました。幸いにも周囲の方々のご指導とご協力のお陰で、十分ではありませんが、何とかやってこられた

と思っております。

私が子どものころは、まだ自宅にお風呂や電話のある家は少なく、銭湯が地域の社交場で裸の付き合いがありました。隣同士で味噌や醤油の貸し借り、架かってきた電話の取次ぎをしてもらう「呼び出し電話」など、今思えば大らかで微笑ましい近所付き合いがあったものです。

また、子育ても「町内の子」というだけで近所の「おっちゃん」「おばちゃん」が、やさしく見守ってくださり、時には叱ってくれました。

子どもは家庭と町内で養育されたのです。しかし昨今は、プライバシーが尊重されるあまり、ご近所付き

合いも希薄になり、「隣は何をする人ぞ」という状況のようです。特に我が町会はマンション町会であり、一人世帯や独居高齢者が増えるなか、お互いの「声かけ」やサポートがより必要とされます。

一人でも多くの方が、地域主催の行事や集会などに積極的に参加して町会内の絆を強め、顔見知りが増えれば増えるほど、防災・防犯にも役立つと思い、微力ながら勧誘に努めてまいりました。

私自身、町会長という貴重な経験をさせていただ

たお陰で多くの人々と出会い、交流の輪が広がり、楽しく充実した日常生活を得ました。

現在は仕事をやめ、山本で新舞踊・創作舞踊の教室を開いております。趣味を通じてより一層、人の輪を広げていきたいと思っております。

町会長の任期もあとわずかですが最後まで頑張りたいと思います。

「ノルディック・ウォーク」のまち 北山本

北山本地区 中 塚 廣 昭

回覧板は、市から市民の方々への、情報の伝達の手段として、又、地域の行事への「参加」「お知らせ」などの手段として存在しています。

市からの「保健」「教育」などの啓発事業と参加案内を、手元にお届け出来ますし、地域活動情報もお届けすることも出来ます。

市政だよりの配付も自治会で担当し、地域の方々の福祉向上のため、行政事業啓発のため、自治会として活動しています。北山本地区では、9町会9人の自治振興委員が、「校区まちづくり協議会」や「地区福祉委員会」に役員や委員として参画しています。校区まちづくり協議会では、「安全、安心まちづくり事業」の自主防災訓練への指導参加や、防犯カメラの設置に関することや、青色防犯パトロールへの参加、福祉委

員会事業などにも積極的に参画しています。昨年11月24日（金）と29日（水）の午前10時から11時45分に福万寺公民館と麒麟公園（山本町北第2公園）にて開かれ、校区まちづくり協議会事業の「ノルディック・ウォーク初級講座」（写真）に3名の自治振興委員が参加しました。講師の指導のもと、ポールを使ったウォーキング方法や、その効果について、講義と実習を受けました。

2日間で30名の地域の老若男女が参加され、大変好評でした。参加された、みなさんの健康増進のため、講座終了後、「ノルディック・ウォーク」のグループがスタートすることが決定しました。この様に自治振興委員として、今後とも、地域関係団体の事業や活動にも積極的に、参加・協力し、合わせて、自治会活動を活性化し、地域に住んでおられる方々と連携を図るとともに町会加入者を増やすため、努力していきたいと考えています。最後になりましたが、地区ボランティア活動をされている皆様方のご協力をよろしくお願い申し上げます。



「ノルディック・ウォーク」のまちを目指します

町会に思う

龍華校区植松地区 古 里 源 三

私が八尾市民になったのが、昭和46年10月の寒い日でした。高度成長期で朝早くから現場作業に明け暮れる毎日。子供も3人で貧しい借家住まいでした。

昭和54年マイホームを買い、ローン生活の中、昭

和55年白百合子ども会の東太子支部長として、1年間多くの仲間と、260名を超える子ども会会員のお世話をいたしました。

初めての経験が多く、戸惑いながらも、キャンプ、夏祭り、盆踊り、ハイキングなど大変ながら役員や幹事さんと心を1つにしてやり遂げました。今では楽しい思い出として大事にしています。

さて町会のことやコミセンのことなどあまり関心を寄せることなく30年以上過ぎてしまいました。薦め

られるまま、無関心を恥じて平成28年度の町会長を引き受けました。毎月の市政だよりの配付、ちらしの回覧、地域の行事の多さに戸惑いながら任期も残り僅かとなりました。

地域の皆さんの協力が本当に有り難く役員をして良かったと思ひ、微力ながら町内にご奉仕が出来たかと自負しています。

役員をすることがいやで転居された方がいると聞いたことがありました。私の希望は町内会員皆で力を合わせて住みよい町づくりが出来ることです。今では春日公園で毎日行っているラジオ体操も4年近くになり、公園の清掃を通じて知り合った地域の皆さんと1日の始まりを楽しんでいます。

今では八尾市路上喫煙マナー向上推進員、八尾市ごみ減量推進員、八尾市人権啓発推進員、八尾市龍華校区植松地区自治振副委員長、渋川神社総代などもやらせてもらっています。

町会の皆さんと共に明るく住みよい町になるように出来ることから協力していきたいと思っています。皆さんよろしくお願ひいたします。



竹淵地区の紹介と町会活動

竹淵地区 長谷川 憲 司

竹淵地区というのは皆さんもご存じの通り、どちらかと言うと大阪市に編入されてもいい程、大阪市に入り込んでいます。私も生まれてから今65の歳になるまで住んで、何よりもこの古さに誇りを持っています。歴史ある地区で、竹淵は古来より「たこち」と称し、その前は「多加不知」(たかふち)から来ていると言う人もいます。初代天皇の神武天皇が九州の日向から大坂浪速に上陸し、大和に入ろうとしたが、敵方の軍勢に阻まれ追い詰められた時、生い茂った竹藪の中に身を隠し助かったのが竹淵神社のある所と言われていま

す。また藪に入ったことで追跡から逃れることができ、兵士たちの身体心とも休まったことから、住み込みの奉公人が休暇をとって家に帰ることを指す「藪入り」という言葉が生まれたと伝えられています。

一昨年は、NHK大河ドラマ「真田丸」が好評でしたが、司馬遼太郎先生「城塞」下巻後半に書かれています大阪夏の陣。茶臼山から真田幸村に追いかけられた徳川家康が平野郷から竹淵と逃げ、竹淵塩川庄屋

敷においてかくまわれ助かった話は有名です。竹淵の呼び名も現在は昭和62年頃より「たけふち」に変わっていますが、竹淵(たこち)神社・竹淵(たこち)小学校は今も昔の呼び名で生きています。竹淵地区の古い良さを求めて八尾の皆様も足を運んではいかがでしょうか？

次に町会活動ですが、「校区まちづくり協議会」では、「安全・安心でふれあいのあるまち」を目標に掲げており、具体的な内容としては(1)「安全・安心で」ふれあいのあるまち、(2)「交通問題に取り組む」ふれあいのあるまち、(3)「誰もがいくつになっても暮らせる」ふれあいのあるまち、(4)「竹淵コミュニティセンターを拠点に様々な世代が集える」ふれあいのあるまち、(5)「スポーツを通じてみんながあいさつのできる」ふれあいのあるまち、(6)「工場と住まいが良好な関係である」ふれあいのあるまちとなっております。どこの地区活動においても、少子高齢化が叫ばれていますが町会においても、高齢者の方々が積極的に参加できる地区活動を考え推し進めていきたいと思っています。

昨年、11月23日(木・祝)朝9時半より竹淵第1公園(竹淵きりん公園)において消防署立ち合ひのもと、可搬式ポンプ放水訓練を実施し、多くの町会の方に参加していただき感謝しております。



可搬式ポンプ放水訓練のようす

町会行事の紹介

大正南地区 寿喜多 勝也

現在、アブシー自治会で行っている行事の紹介をさせていただきます。

4月に住民交流会があり、参加費を徴収して飲食をしながら老若男女問わず交流する場を設定しています。

8月の第1土曜日にサマーフェスティバル実行委員会主催で近隣住民の方も多数参加していただいている行事があり、舞台催しは、大正中学吹奏楽部の演奏やダンスパフォーマンスや外部からのバンド演奏などがあります。屋台については、子ども会担当のヨーヨー釣り、スーパーボール、当てもの、おもちゃくじ、ア

ブシーハート担当のたこ煎、ミルク煎、お菓子くじ、婦人会担当のフランクフルト、アブシー自治会担当の焼き鳥、飼育委員会担当のドリンク、生ビール、外部屋台として、焼きそば、唐揚げ、たこ焼、かき氷などがあり毎年大勢の来客を含め真夏の宴として盛り上がっております。

12月には、もちつき大会と夜警があり、もちつき大会は、住民参加で杵と臼でおもちをついて婦人会でとん汁を作って歓談しております。

夜警は、年末27日から29日の3日間、マンション敷地内と近隣区域の夜回りを行っております。

このように1年間の行事を行っており、多くの住民の協力と近隣住民の方々のご理解ご協力のもと継続して行っております。

まちづくりにおける町会の役割

曙川東小学校区 浅田 哲次

我が町会は、八尾市の南東部に位置し、柏原市と隣接したまちで、信貴生駒、高安山を背景とした、自然に育まれたまちです。また、玉串川と長瀬川の分水点もあり、大和川の付け替え事業とかかわる歴史ある町でもあります。「校区まちづくり協議会」では、世代を越えた、ふれあい祭、市民スポーツ祭、校区防災訓練など、年末には、もちつき大会など、地区のイベントとして、多種多様な事業を開催するなど、地区の皆様の協力を得ながら、年を増す毎に盛会に開催される様に思います。

「校区防災訓練」においては、自治振興委員会並びに、

地区各種団体のご支援を頂き、約400名の皆様に防災体験をして頂きました。

「自分の命は自分で守る！！住民の命は地域で守る。」今後も引き続き取り組んで参りたいと存じます。我が町会は、今後も進むであろう高齢化に対処すべく、一人暮らし家庭のお年寄りが孤独感を味わう事のないようにして、特に高齢者を把握して、もしもの場合の救済活動に役立てます。

高齢者に対しては、毎日のあいさつから自然体で対話出来るように、プライバシーの問題などありますが、協力出来るように、皆でイベントに楽しく参加して行けるように、地域を盛り上げて参ります。町会が率先して、隣保共同共助の精神を忘れずに、高齢化社会に対して労わりの心忘れずに更なる取り組みに頑張っていくたく、新たな決意であります。



防災訓練の様子



読者アンケート

みなさまにより身近な機関紙「うるおい」をめざして

昭和60年に第1号を発行してから33年が経ち、このたび第70号を発行することになりました。

今後もみなさまにより身近な機関紙「うるおい」をめざしていくため、是非、アンケートにご協力ください。なお、みなさまからいただいたご意見は、今後の機関紙「うるおい」作成の参考にさせていただきたいと考えています。

裏面にアンケートがございます





八尾市民憲章

わたくしたち八尾市民は

- 1. 若い力をそだてましょう
- 1. あたたかい心でまじわりましょう
- 1. みどりのまちをつくりましょう
- 1. 文化財をたいせつにしましょう
- 1. 働くよろこびに生きましょう

やお安全安心憲章

- 1. 市民一人ひとりが防災・防犯意識を高めましょう。
- 1. ひとを思いやるやさしさを持ち、
共に助け合う地域をつくりましょう。
- 1. 豊かな地域活動をはぐくみ、災害や
犯罪に強いまちづくりを進めましょう。
- 1. 未来を担う子どもたちを犯罪から守りましょう。
- 1. 社会のルールを守り、地域の和を尊重しましょう。

新型 自転車補償プラン



自転車に乗って
ケガをしたら

交通災害共済

日常生活全般の事故で
他人に損害を与えたら

個人賠償責任補償

年齢制限なしで賠償補償は国内無制限！
年間ご負担額 3,200円～

詳細についてはパンフレットをご覧ください。

自転車保証プランで取り扱った賠償事故の事例

相手方の入院・治療費・休業損害
賠償額 149万円



自転車乗車中に、接触事故!

噛まれた方の治療費
賠償額 83万円



ペットが他人を噛んでしまった!

修理費
賠償額 9万円



子どもが、別居のおばあちゃんのパソコンを壊してしまいました!

階下への修理費・清掃費
賠償額 348万円



階下へ水漏れさせてしまいました!

取扱代理店
団体契約者

大阪市民共済生活協同組合

「本部窓口」大阪市中央区北浜4-1-21住友生命淀屋橋ビル3階
フリーダイヤル 0120-866-844 平日(祝日除く) 9:00~17:30

「八尾市お客様窓口」八尾市本町7-2-43 森田YSビル2階
フリーダイヤル 0120-976-864 月水金(祝日除く) 10:00~16:00

引受保険会社

東京海上日動火災保険株式会社
関西公務金融部 大阪公務課

大阪市民共済ホームページ

大阪市民共済

検索

編集後記

今号では、中核市移行後の市と私たちとの関わりについて、健康づくりに対する取り組みに着目した内容を巻頭の特集として取り上げました。イラストでもわかるように、保健所をはじめとする医療機関が連携を図り、私たちの健康をサポートする体制はとて心強いですね。寄稿文をお寄せくださったうるおい通信員のみなさまにおかれましては、わがまちの紹介や地域の取り組みのご紹介をしてくださり、ありがとうございました。

また、今後もみなさまに、より身近な機関紙「うるおい」をめざしていくため、アンケートにもぜひご協力をお願いします。

【編集委員】委員長・山中 あや子(用和地区) 副委員長・森川 均(永畑校区植松・老原地区)
 本田 静夫(八尾地区) 笠谷知枝子(用和地区) 中塚 廣昭(北山本地区)
 田中 秀宙(高安西地区) 林 幹治(安中地区) 角倉 昭秀(永畑校区植松・老原地区)
 裏野 昭(龍華地区) 中筋 史郎(亀井地区) 河本千枝美(赤十字奉仕団婦人部)

年齢()代 町会の役員歴の有無(有・無) 提出期限:平成30年5月31日(木)まで

- 1. 機関紙「うるおい」を読む頻度について
【 毎号読んでいる・時々読んでいる・読んでいない 】
- 2. 「1」で「読んでいない」と答えた方へ
→どのような記事なら読みたいとおもいますか。
【イラストや写真が多い・カラーで掲載されている
記事の内容が興味深い・その他()】
- 3. ページ数について
【 多い・ちょうど良い・少ない 】
- 4. 機関紙「うるおい」に対するイメージについて
【 明るい・暗い・新しい・古い・その他() 】
- 5. その他、ご自由にお書きください。

すべての記載が終わりましたら、あなたが所属する町会の町会長もしくはお近くの出張所へお渡しください。ご協力ありがとうございました。